

親子聖書日課

NO.1633 2020.1/12-18 名前

[日]ユダヤでは公然と「神などいない」と言えませんから、心の中で神の存在を否定する人がいました。私達も口では神を信じていると言いながら、心では「そんな事は神でもできない」と思うことはありませんか。その人は「神を知らぬ者」です。

[月]主イエスの御名によって、私達はどんな苦難からも常に救い出されます。但し、「すぐ」というわけにはいきません。救われる時が主に定められていますから、祈りを諦めてはいけません。祈りが聞かれるまで、祈禱会で祈り続けましょう。

[火]私達は人生に重荷を負う時、あの事が悪かった、この事が悪かったとよく後悔します。しかし、重荷は何一つ解決しません。重荷は自分で負うものではなく、主に委ねるものです。すると、主はその人を支えて、万事を益として下さいます。

[水]神は私達の涙(殆どが自分のために流す涙であっても)を、神の皮袋に蓄え、その一滴一滴を覚えて下さいます。そして天国に行った時、すっかり拭い去って、喜びに変えて下さいます。主のように、他者のために流す涙を沢山蓄えましょう。

[木]親鳥がひなを翼で覆って外敵から守るように、神は信頼する者を守って下さいます。ダビデは「御翼の陰」を常に意識しました。主が守って下さるから大丈夫と主に信頼する時、「心を確かに」され、確信をもって生きられるようになりました。

[金]私達は、あの人が悪い、この人が悪い、と言ってよく人を裁きます。気づかないだけで、自分も悪い事をしています。人を正しく裁くことができるのは、主だけです。悔い改めた者は主の赦しを経験できますから、十字架の赦しで人を赦しましょう。

[土]悪者は、野犬の群れのように獲物を狙い、暗闇で悪いことをします。その口は不平不満や呪い、欺きの言葉で満ちています。しかし、主を信じる者は光の子として、朝の光と共に神を賛美します。その口は、感謝と喜びと希望で満ちています。



	聖書	問題	答え
日	詩編 53:1-7	神を知らぬ者は心に何と言いましたか。	
月	54:1-9	主は苦難から常にどうして下さいますか。	
火	55:1-24	あなたの重荷を主にどうすべきですか。	
水	56:1-14	あなたの皮袋に私の何を蓄えて下さいますか。	
木	57:1-12	あなたの何を避けどころとしますか。	
金	58:1-12	神に従う人は必ずどうなりますか。	
土	59:1-18	朝には、あなたの慈しみをどうしますか。	
感想と祈りの課題			